

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	生活環境論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室
担 当 教 員	可成 孝多	実務経験と その関連資格	理学療法士として、医療機関や介護施設、また行政機関との連携等、実務経験あり			
《授業科目における学習内容》						
①ICFの概念を知り、生活環境から動作が変化することを理解する。 ②介護保険・障がい者に関わる制度を理解する。 ③福祉用具、住宅改修に必要な基本的知識を身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
標準理学療法学 専門分野 日常生活活動学・生活環境学(第5版)						
《授業外における学習方法》						
授業を理解するために予習・復習を通して、自主的に調べ学習をすること。						
《履修に当たっての留意点》						
分からないことは、その日に解決できるように自主的に学習をしましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義実習形式 授業を 通じての 到達目標	①ICFの概念を知り、生活環境から動作が変化することを理解する。 ②介護保険・障がい者に関わる制度を理解する。		テキスト 配布資料	事前学習 シラバスを読んでおく(20分) 事後学習 配布資料・プリント整理と復習を行う(40分)	
	各コマに おける 授業予定	生活環境福祉論 概論				
第2回	講義実習形式 授業を 通じての 到達目標	①ICFの概念を知り、生活環境から動作が変化することを理解する。 ②介護保険・障がい者に関わる制度を理解する。		テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリント整理と復習を行う(40分)	
	各コマに おける 授業予定	生活環境と法的諸制度				
第3回	講義実習形式 授業を 通じての 到達目標	①ICFの概念を知り、生活環境から動作が変化することを理解する。 ②介護保険・障がい者に関わる制度を理解する。		テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリント整理と復習を行う(40分)	
	各コマに おける 授業予定	生活環境としての整備・改修①				
第4回	講義実習形式 授業を 通じての 到達目標	①ICFの概念を知り、生活環境から動作が変化することを理解する。 ②介護保険・障がい者に関わる制度を理解する。		テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリント整理と復習を行う(40分)	
	各コマに おける 授業予定	生活環境としての整備・改修②				
第5回	講義実習形式 授業を 通じての 到達目標	図面の見方と書き方を理解し、知識を身につける		テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリント整理と復習を行う(40分)	
	各コマに おける 授業予定	図面の見方と書き方				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義実習形式 授業を 通じての 到達目標	ノーリフトポリシーによる基本動作介助技術を身に着ける	テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリン ト整理と復習を行う(40分)
	各コマに おける 授業予定	寝返り動作テクニックの実践		
第7回	講義実習形式 授業を 通じての 到達目標	ノーリフトポリシーによる基本動作介助技術を身に着ける	テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 住宅改修 事後学習 配布資料・プリン ト整理と復習を行う(40分)
	各コマに おける 授業予定	起き上がり動作テクニックの実践		
第8回	講義実習形式 授業を 通じての 到達目標	ノーリフトポリシーによる基本動作介助技術を身に着ける	テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリン ト整理と復習を行う(40分)
	各コマに おける 授業予定	移乗動作テクニックの実践		
第9回	講義実習形式 授業を 通じての 到達目標	福祉住環境整備の基本技術を理解する	テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリン ト整理と復習を行う(40分)
	各コマに おける 授業予定	臨床訪問現場での住環境評価①		
第10回	講義実習形式 授業を 通じての 到達目標	福祉住環境整備の基本技術を理解する	テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリン ト整理と復習を行う(40分)
	各コマに おける 授業予定	臨床訪問現場での住環境評価②		
第11回	講義実習形式 授業を 通じての 到達目標	福祉住環境整備の基本技術を身に着ける	テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリン ト整理と復習を行う(40分)
	各コマに おける 授業予定	車いすや歩行器の種類、リフター等の選定や使用		
第12回	講義実習形式 授業を 通じての 到達目標	福祉住環境整備の基本技術を身に着ける	テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリン ト整理と復習を行う(40分)
	各コマに おける 授業予定	車いすや歩行器の種類、リフター等の選定や使用		
第13回	講義実習形式 授業を 通じての 到達目標	福祉住環境整備の基本技術を身に着ける	テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリン ト整理と復習を行う(40分)
	各コマに おける 授業予定	ベッド上で用いる、福祉用具の選定と私用		
第14回	講義実習形式 授業を 通じての 到達目標	福祉住環境整備の基本技術を身に着ける	テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリン ト整理と復習を行う(40分)
	各コマに おける 授業予定	ベッド上で用いる、福祉用具の選定と私用		
第15回	講義実習形式 授業を 通じての 到達目標	④福祉用具、住宅改修に必要な基本的知識を身につける。	テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリン ト整理と復習を行う(40分)
	各コマに おける 授業予定	総括など		